

教科	国語	科目	現代文A	単位	2単位	年次	2年次
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 新編 現代文A』						
副教材							

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

高等学校の国語では、みなさんが社会へ出たときに会おう様々な人々との交流に必要なコミュニケーション力の基盤となる国語力をさらに発展させることを目標とします。現代文 Aでは、近代以降の論説文や小説、詩歌等の作品に触れることにより、語彙や表現スキル、状況を把握する力や感性を磨き、「自身の意思を伝える」と「他者の意思を理解する」ことができる人になることを目指します。授業では、以下の点を特に注意して学習に取り組みましょう。(1)評論・論説文に対して、「なぜ～」「どうして～」という批判的な姿勢で読む。(2)文学作品を想像力を持って味わいつつ、効果的な表現を学び、自分の創造力につなげる。(3)自分が文章を書いたり話したりするときは、正しい文法・語法を用い、論理性を意識する。(4)新しい語彙・重要事項は、辞書や副教材等も使用して正確に理解し、覚えるべきことは覚える。(5)集団での活動に積極的に参加し、協働性やリーダーシップを身につける。

2. 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
 ・国語を適切に表現し、的確に理解する。
 ・言語を適切に使用しながら、伝え合う力を高めるとともに、思考力 や想像力を伸ばす。
 ・我が国の近代以降の物語・小説や詩歌、評論を読むことを通して、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
 ・国語 を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 主 旨	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	・相手や目的、意図に応じ、正しい文法・語法を用いた適切な表現による文章・詩歌・脚本等を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・取り組み姿勢 ・ノート、ワークシート、配布プリント等への記述 ・提出期限の厳守	・取り組み姿勢 ・ペアワーク、グループワーク、話し合い、発言、音読、発表等	・ノート、ワークシート、レポート等の点検。 ・定期テスト	・授業での諸課題 ・小テスト ・定期テスト	・重要事項の定着度 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					評価方法
			a	b	c	d	e	
4・5	論説	福田哲夫「なぜ”コロブスの卵”を描くのか」				◎	○	学習への姿勢 グループワーク 課題提出 発表 プレゼン スピーチ 作品 ノート ワークシート 小テスト 定期テスト
	小説	いしいしんじ「調律師のるみ子さん」 江國香織「デューク」	○	◎		○		
	語彙	阿刀田高「犬も歩けば棒に当たる」		○	○		◎	
	詩	中原中也「汚れつちまつた悲しみに」 宮沢賢治「永訣の朝」ほか	◎	○		○	○	
6・7	小説	内海隆一郎「相棒」 井上ひさし「ナイン」		◎	○			
	論説	河合隼雄「花女房」 平田オリザ「コミュニケーションの文化」		○		◎	○	
9・10	創作(演劇・動画)	中島敦「山月記」 芥川龍之介「鼻」	○	◎	◎	○		
11・12	論説	千松信也「クマを変えてしまう人間」 原研哉「大量生産の眩暈」		○	○	◎	○	
	短歌・俳句	斎藤茂吉ほか			◎	○	○	
1・2	論説・演習	鷺田清一「支え合うことの意味」ほか 入試問題研究		○	○	◎		
	小説	夏目漱石「こころ」		○		◎	○	
3	プレゼンテーション(ブクトーク)	各自	○	◎	○	○		

※学習の内容・順序についてはあくまでも予定であり、変更がありうるが、できるだけ皆さんの作品を取り扱いたい。

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。